



2019 女子ハンドボール 世界選手権大会

24th IHF WOMEN'S HANDBALL
WORLD CHAMPIONSHIP KUMAMOTO/JAPAN 2019



戦況用紙

開催日	2019年 12月 11日 水曜日	試合コード	#85
開催地	(都道府県名) 熊本県	会場名	パークドーム熊本

結果	A	スコア		B
	ROU	20	前半	37
8—18				
後半				
12—19				
第一延長前半				
—				
第一延長後半				
—				
第二延長前半				
—				
第二延長後半				
7 m c				
—				
—				
Romania (ルーマニア)				Japan (日本)

戦況	見出し	最終戦を大差で勝利-JPN
	前半	<p>C組3位ROUとD組3位JPNのMAIN ROUND-Group2の試合は、JPNのスローオフで開始。ROUのDFは、6-0システム。先取点は、JPNのRBからの1対1でシュートが決まる。JPNのDFは、6-0システム。RBからステップシュートが決まり2対0とする。さらに7mTを決める幸先の良い立ち上がり。JPN-LBから矢のごとくゴールに突き刺さり5対2と3点リード。JPN-DFは長身のバックプレーに対し高めからプレッシャーをかける。9分過ぎ、ROU-大型PVのワンハンドキャッチで高い打点からのシュートが決まり4対8。JPNは、GKをCPIに代えて7人攻撃でRWからキレのあるシュートを決める。13分過ぎ、5対10の5点差となったところでROUのはタイムアウトを申請。再度7人攻撃で、スピードのあるパス回しからカットインシュートを決める。JPNは、GKの好守と得意のセットプレーで7mTを獲得し確実に決め12対6と引き離す。20分過ぎ、JPNはタイムアウトを申請。ROUは退場処分、JPNに7mTが与えられ加点し7点差。ROUは、GKをCPIに代えて6人で攻撃するが、JPNの堅いDFに攻め仰ぎ速攻を許し失点。26分過ぎ、ROUは、JPNのフットワークを生かしたDFと再三にわたるGKのファインセーブにあり、得点が伸びずタイムアウトを申請。JPNは、ポジションチェンジからの流れるような球回しで追加点をあげ18対8と大幅にリードし前半を折り返す。</p>
後半	<p>前半のデータ分析結果、JPNのシュート確率は82%。一方のROUは38%であった。10点を追いかけるROUのスローオフで後半30分開始。後半最初の得点は、ROU-RWからの鋭いシュートが決まる。序盤、激しい攻防を繰り広げ、8分過ぎには、JPNのスカイプレーが決まり、会場中が盛り上がった。前半同様に高めのアグレッシブなDFを継続し、ROUの攻撃を阻止するJPN。ROUの大型PVの豪快なシュートも連続し好セーブを見せるGK-30。17分過ぎ、JPNは3-2-1DFに変え積極的なディフェンスを仕掛ける。ROUのLBからの打点が高く強烈なロングシュートがゴールに突き刺さり17対30。なかなか攻略できないROUは、7人攻撃をかけるがエンブティゴールを決められ18対32と大幅に点差を広げられる苦しい展開。JPN-no81の華麗な1対1で7mTを獲得し、no27が確実に決め、この試合8得点目で33対18。JPNはここまで退場者なしの堅いDF。終盤、JPN-no1が今大会初出場でゴールを守る。最初のPVからのシュートを好セーブ。さらにLBからのロングシュートも阻止し、速攻でno13が加点。残り3分、ROUは最後のタイムアウトを申請。終了間際、JPNno41のミドルが決まり37対20で勝利。 プレーヤーオブザマッチは、勝利を導く好セーブを見せたJPN-no30 KAMETANI Sakuraに贈られた。</p>	



戦況作成者	牧 均
-------	-----